

NPO 法人近畿水の塾

平成23年度事業報告書

平成24年 5 月

継続的な公開研究会『河川塾』の実施

1. はじめに

2000年(平成12年)9月に八幡市で開催した「川に学ぶシンポジウム in 近畿」の終了後、実行委員が川に関する人のネットワークの継続や知識の習得を兼ねて、摂南大学澤井教授を中心にスタートし、2002年(平成14年)年8月よりNPO法人近畿水の塾事業の一つとして継続している。

2. 実施内容

河川を楽しく、幅広く、実験・具体例(フィールドとしてピオトープづくりや河川蛇行実験など)を併せてわかりやすく学ぶこと、様々なセクターからの受講生が時の話題・情報を提供する。

第1回は2000年11月に始まり、2012年3月の定例会で123回を迎えた。受講生は、学生・行政担当者・コンサルタント・市民など会員及びその紹介を受けたもので、2000、2001年は河川の基礎工学シリーズ、特別フィールドシリーズ(ワーキング)、2002年はマイリバーシリーズ、2003年は河川関連法(自然再生から淀川を例とした河川整備計画)、2004年は淀川の整備計画と水資源、付替え300年を経た大和川など、2005年は琵琶湖・淀川、都市と農、市民参加型公共事業など、2006、2007年はマイジョブ&リバーとして会員の仕事と川への関りなど、2008年はマイジョブ&リバー、流域委員会シリーズ、古老に聞くシリーズ。2009年はマイジョブ&リバー、番外編を中心に10年を経て第100回記念企画、2010年はマイジョブ&リバー、流域委員会シリーズ、2011年からはマイジョブ&リバーなどを中心に展開し、また参加費(資料代)を会員外500円、会員無料とし参加の枠を広げた。

回	月/日	内 容
120	12/3	拡大河川塾 「柳川掘割物語」を広松伝さんの三大弟子と観る会!(山道省三、田中秀子、山口徳雄)
121	1/26	2011 熊野水災—現地での体験と考察(地域循環システムデザイン研究所 辻井隆昭)
122	2/23	里山復元 (有限会社ランドデザイン 中村伸之)
123	3/23	映画「祝の島」鑑賞

3. 成果

近畿における川や水辺に関する知識を得、時の情報を共有でき、また各地での活動を知り、様々な団体との交流が図れた。

4. 今後の課題

- ・事前に講座・フィールドの希望内容を会員より収集
 - ・会員・受講生より得た情報などから、不定期に新たな知見を得られるシリーズ(フィールド・講座)の設置
 - ・二級河川の流域連携
- など、新年度に向けた内容等を検討する必要がある。

5. その他

- 今後の具体の予定として、
- ・マイリバーを継続して、情報を蓄積し交流をはかり、またこれらを紹介しながら川の評価基準により表彰する
 - ・河川踏査、写真・資料収集等
 - ・干潟事例報告、提案
 - ・環境学習の検討報告
 - ・河川で合宿 フィールドワーク
- などを検討中である。

(報告 西河嗣郎)

回	月/日	内 容
113	4/25	ウズベキスタン報告(南隆雄)
114	6/29	国際無償援助(竹尾敬三)
115	7/26	獵すること(西村浩一)
116	8/25	放射線、フクシマを測定して(久保田洋一)
117	9/20	一般廃棄物処理と発電(高野伸一郎 堺市クリーンセンター東工場)
118	10/25	大阪府中央卸売市場の役割 これまで~これから (久保佳洋)
119	11/25	ダム熟练操作について (左近重信)

映画『柳川掘割物語』を広松伝さんの三大弟子と観る

日時：平成23年12月3日(土)
場所：尼崎市立すこやかプラザ・ホール
(JR立花駅南)

内容

「日本が貧しかった頃、全国どこの町にも村にも水路があって、その水路をはさんで、人間同士、生き物も交えての濃密な付き合いがあった」という出だしで始まる「柳川掘割物語」は、日本人の川との付き合い方を思い起こさせてくれる映画です。

風の谷のナウシカで知られる、宮崎駿さんと高畑勲さんのコンビが制作したもので、ドキュメントとしても、また川との付き合いを学ぶ歴史、文化資料としても、貴重な作品となっています。

私たち、近畿水の塾のメンバーが敬愛する、故広松伝(ひろまつたえ)さんが、この映画の主人公の1人です。

今回は、その上映会を実施しました。広松伝さんの3大弟子ともいえる、山道省三さん、田中秀子さん、山口徳雄さんにもお越しいただき、広松さんにまつわるお話をさせていただきました。

(三大弟子のプロフィール)

山道省三さん：故森清和さんと共に、日本に川の住民市民活動を広めた影武者。長崎長与町出身。

田中秀子さん：広松さんの打ち込んだ「筑水研(筑後川水問題研究会)」を引き継いだ国交省技術職員。城原川、草堰、野越など、昔の技術を追求・

山口徳雄さん：佐賀市役所。その地を出るまで、川というのは水が上流に行ったり下流に行ったりするものだと思いこんでいた、という佐賀平野育ち。有明海漁師一の弟子。

所感

改めて広松さんの活動を少しだけ学ぶことができたと思います。昔の人の知恵を学ぶことから、本当の技術は何かを知ることができるような気がします。思想のある技術は、ミミズや微生物の中にあるのです。

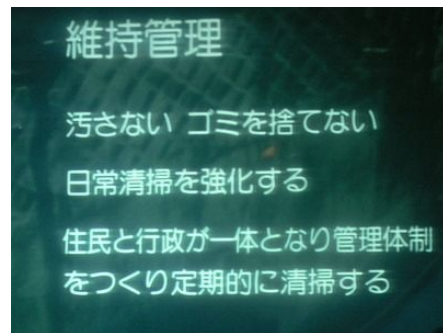
台所の排水はこしてから出すこと、合成洗剤は使わないこと、生活排水に気をを使うなど、日々の活動を積み重ねることしか思いつきませんが、柳川掘割物語で表現された内容は、例えば「風の谷のナウシカ」や「天空の星ラピュタ」などのアニメの中にちりばめられて生きています。そのことを忘れてはいけないでしょう。



会場の様子



映画の1シーン。掘割を通して結婚式



今に生きる河川浄化計画の一部



左から山道さん、田中さん、山口さん、福廣

近畿水環境交流会 in 大川の開催

日時：平成23年7月30日(土)～7月31日(日)

場所：エル大阪、毛馬桜之宮公園

1日目 淀川大堰等見学・エル大阪(天満橋)

2日目 大川ふれあいの水辺(新設の砂浜)

内容

(1日目)

9:30 - 10:00 受付(淀川大堰)

10:00 - 12:30 施設見学

(淀川大堰・蕪村句碑・毛馬水門・毛馬閘門・毛馬ポンプ場・津波高潮ステーション)

13:30 - 14:00 移動・昼食休憩・受付

14:00 - 17:00 シンポジウム

18:00 - 懇親会

澤井実行委員長あいさつ

1999年、滋賀県草津市で第1回を実施して以来、琵琶湖流域、猪名川などを経て、去年は滋賀県湖西高島市で実施した。環境保全とバランスをとっていきたい。キャッチフレーズだが、活かそう水辺は使うことと、生き物の命を大切にということ。人同士の交流も。つながり流れは対岸、空間と立場をつなぐ、国府県、行政の分野をつなぐ、時の流れをつなぐ。こんなことを考えている。震災で被害にあわれた方にできることを考えたい。

特別講演

「水都大阪、水辺の賑わい」

講師 大阪府河川室長 辰谷義明氏

「大川の自然環境」

講師 大阪市立八阪中学校教諭 河合典彦氏

活動紹介

おお川水辺クラブ：新里さん、ウォーターステーション琵琶の会：吉岡さん、桂川流域ネットワーク：二枝さん、ふるさ都・夢づくり協議会、大和川市民ネットワーク：小松さん、摂南大学エコシビル部・石田ゼミ、淀川愛好会・澤井ゼミ、PBL型学生プロジェクト、武庫川流域圏ネットワーク：久保田

講演

辰谷さんには、大阪府の河川行政の流れを解説していただき、7月には大川貯木場跡地に「ふれあいの水辺」が完成した報告をしていただきました。天野川の多自然川づくり、槇尾川の隠し護岸と河畔林保全、中之島川とまちをつなぐ遊歩道、水都大阪再生の動き、船着き場の整備などが報告されました。

河合典彦さんには、「大川の自然環境」と題して、淀川を中心とした生き物の状況と、かつて、大阪市の花は「ヨシ」であったこと、貯木場跡地にヨシ原の再生に期待したいことなどを話していただきました。

大和川の水質は7月28日報告では、日本の一級河川(109水系)の中でワースト4位になったそうです。かつてワースト1位だったのですが、嬉しいことではあります。

内容(2日目)

望ましい水辺利用の実践(大川貯木場跡地：ふれあいの水辺付近)

8:30 - 9:00 受付(ふれあいの水辺)

9:00 - 9:30 付近清掃

9:30 - 10:00 開会式、水辺利用マナー講習

10:00 - 12:00 水面利用の実践

12:00 - 13:00 昼食休憩

13:00 - 15:00 Eポートレース

15:00 - 15:30 閉会式、後片付け

31日は、桜ノ宮公園に隣接する貯木場跡の緑地に集合して、大川を舞台として、水辺の清掃活動、水辺利用の実践(水質調査、距離測定など)を行ない、Eポートレースが行なわれました。

NPO法人近畿水の塾は、メンバーが少なかったため、混合チームに参加。年齢層が高いのですが、バランスはとれており、なんと17チーム中6位という好成績をおさめました。

しかし暑かったです。風があっただよかったです。水をかぶって熱中症対策をしていました。

ふれあいの水辺づくりは、砂浜の整備も進み、この交流会のすぐ後に完成しました。こうして2日間の取り組みは無事に終了しました。



1日目は天満橋のエルおおさかでシンポジウム。100名以上が参加しました。

2012年度は、7月28日(土)、29日(日)の2日間、武庫川の宝塚市内、宝塚市立文化創造館(元宝塚音楽学校)及び宝塚大劇場付近の水面で実施する予定です。

(報告 久保田 洋一)



2日目のメインイベントはEポートレース。その前に子どもたちに体験乗船をしてもらいました(大阪子どもの水辺ネットワーク)。



Eポートレースのスタート。4隻で競争しました。

大川をEポートが行きます。なかなかまっすぐには進みません。



大川貯木場跡 満潮時。砂が少ないです。



大川貯木場跡 干潮時。砂が多く現れます。

(3) 人と水との関わりに係る行政機関、各種事業主体、特定非営利活動法人、市民ボランティア団体等への助言、提案または技術的援助

バスツアー企画（対外的連携）「桂川上流に『あかり』を訪ねて」の報告

日 時：平成 23 年 8 月 7 日（日）

コース：京都駅 鞍馬 旧京北町黒田・宇津等桂川上流 天若湖 京都駅（詳細は参加者募集の案内参照）
経 緯

天若湖アートプロジェクトの「あかりがつなぐ記憶」のリーダーの下村泰史さんが、「近畿水の塾」の会員でもあり、また、NPO メンバーも、このプロジェクトを高い評価で関心を持って注目している事もあって、参加費 2500 円（資料代+夕食代）と言う魅力的なバスツアー企画「桂川上流に『あかり』を訪ねて」の当日仕事だけ、お手伝いさせていただきました。

先ず、「参加者募集の案内（一部省略）」を報告しておきます。

「桂川上流に『あかり』を訪ねて」のご案内

集合時間：12：45 （13：00 出発）

集合場所：京都駅南観光バスロータリー（篠小型交通バス）

*混雑の場所ですのでよくお探し下さい。また判らない場合はご遠慮なく、下記にご連絡下さい。

問合せ先：NPO 法人近畿水の塾 福廣勝介（連絡先：090-####-####）

参加費：2500 円（資料代+夕食代）

<スケジュール>

13:00	京都駅発 昼食は各自済ませておいてください	
	鞍馬経由で黒田へ	京都ー黒田（バス移動・約105分）
14:45	京北上黒田着 ・旧京北町域、平安時代から都に木材を送り続けた村 黒田村（隣の山国と共に中世からの文書が民家に残っている希 有な村）散策※ ・吉野山（地元古老井本さんデザイン・管理の山づくり）ほか その他、「黒田発電所取水口（上黒田）」「吉野山入口（上黒田）」 「黒田小学校前（宮）」「黒田発電所（下黒田）」など上流の村の雰 囲気をバス車窓からお楽しみ下さい。	「吉野山」散策（45 分程 度）を含め、黒田地域内 で約 90 分程度。 井本寿一さん（地元春日 神社宮司）が、「吉野橋」 から、下黒田辺りまで同 行ご案内して頂きます。
16:15	黒田発 桂川沿いに下ります。	黒田ー中地（バス移動・約45分）
17:00	京北宇津「せせらぎ」にて夕食 知られざるグルメスポット。 野菜料理が美味。川魚がある時も。ご主人は染色家でもあります。	食事時間として約 50 分を 見えています
17:50	「せせらぎ」発、スプリングス日吉へ	中地ー日吉（バス移動・約40分）
18:30	日吉ダムサイト・スプリングスひよし着 「水の杜展」観覧	天若湖アートプロジェクトの一貫として行われて いる展示を観覧します。 さとうひさゑ実行委員長 の案内で湖岸のビューポ イントを回ります。
19:15	「あかりがつなぐ記憶」観覧	途中、世木林で、「あかり がつなぐ記憶」のリーダ ーの下村泰史さん登場。
20:45 頃	観覧終了 スプリングスひよし発	
22:30 頃	京都駅着、解散	日吉ー京都（バス移動・約90分）

下記、注意事項お読みの上、当日を楽しみにお待ち下さい。

<注意事項>

(1) バスツアーの中止の場合について 《省略》

(2) 服装等について

観覧先の一つである黒田では、森林を歩くところがあります。平坦ですが念のため歩き慣れた靴(靴下着用)をご持参ください。羽織るものもご用意をお勧めします。

(3) 天若湖岸での観覧について 《省略》

(4) 急なキャンセル等について 《省略》

(5) その他

井本寿一さんの「吉野山」には名水が湧き出ています。水筒をお持ちいただければ、お持ち帰りいただけるかもしれません。

報告

次に、具体実行の報告ですが、実は、当日ご一緒させて頂いた京都橘大学の小暮先生の当日のブログで、実感の伴う素晴らしいご報告がされております。これを読んでしまえば、僕の報告出番がないと言う事で、お終い!

では事務局からお叱りを受けそうなので、少しだけ追加です。

「あかり」を見に行く事が本来の目的のバスツアー。行程はどこ経由であろうが、付属のものであるはずだったが、下村事務局の配慮で、このツアーのみで独立しても充分な魅力のものであった。魅力の一つは、京都を大きく左京から迂回していく、鞍馬経由の山中コースであった事。そのコース設定は、天若湖はダム湖であり、ダムはある意味、山・山林の代替であるという事を黙って語っていた。また、一つは、あかりプロジェクトのご当地・黒田。そこでの「吉野山」計画の見学と、運営人である朗朗の人・井本さんご自身のご案内の実現。あかりプロジェクトの面々が、ダム湖湖面だけでなく、地域の人々と、しっかりした付き合いから実現した企画であった。これは「せせらぎ」で夕食についても同様である。

その素晴らしい企画を充分理解もせず、バスに飛び乗った自分自身の反省。たとえば、林学卒の端くれの僕は、鞍馬から北への山中コースで、もう少しは、事前勉強で、京都・北山林業を皆さんに説明できればよかった。

もう一つの事務的準備不足。本来、我々当日スタッフが事前になすべき、運転手さんとの詳細打合のサボリ。あわや、運転手さんを夕食抜きで、夜中十時までの運転を強いる所だった。それどころか、まずは、京都駅集合場所「京都駅南観光バスロータリー」の判り辛さも、事前下見無し。これも、あわやのスターと遅れや積み残しになっていたかもしれない。まあ、そこはいつもの、我がNPOメンバー(当日参加6名)の連携力動員の人海戦術で無事切り抜けたのであるが・・・。

篠小型交通 バス運転手さん、京都駅への帰り、亀岡花火の帰途とぶつかっての高速渋滞を、いかにブ口とは言え、機転で切り抜け、これもあわやの終電逃がし大阪府岸和田からの参加者も無事乗車!最後は運転手さんに皆で拍手の運転手さん込みのワークショップにしてしまった参加者全員の力!あわや・あわや・あわや!!

次に、全く個人的な一つ後悔と、一つ不満をご紹介します。

後悔: 吉野山川原で、翠ちゃん(先輩の孫、最年少参加者・小3)が、河鹿捕まえたので、僕も追いかけて掴まえたのを、食べる真似で口に放り込んで、暫くして吐き出す「口腔の蛙」芸を翠ちゃんに見せようとして、一瞬、数年前の岡山美甘村で、同じ事をして、同行のお姉さん方に嫌われたのを思い出して、翠ちゃんに嫌がられたらいかんと思ってやめた事。こんなことでぶれたらあかん! 翠ちゃんなら、きっと真似したやろに!

不満: 同じその川で、井本さんが川原の子供達、ゴリを取ってると説明してくれた時。僕は「どうりで、ゴリムチュウ」とダジャレなのに、誰も反応のなかった事。

最文末であるが、肝心の「あかりがつなぐ記憶」、実行委員長・さとうひさ彖さん、自らにご案内頂いた。実に多数の学生さん達にも支えられて実現したこのあかりは、僕の文章力では報告できない、参加者皆の人生の前と後ろをつなぐような静謐な光であった。そして、同時に、都会では既に失くした、闇の色の様々濃淡を堪能できる旅であった。

(報告 福廣 勝介)

「吉野山」散策スタート



(自然観察の森)



(吉野山川原)



黒田発電所



「鮎の塩焼き」(せせらぎ)



「水の社」展



ホームページの作成・更新等についての事業報告

1. はじめに

当会では平成14年9月15日にホームページを立ち上げ、会の概要、入会方法、事業内容、活動報告などを公開している。

また、会員はメーリングリストに登録し、会員間の情報交換を常に行っている。

2. 実施内容

ホームページの内容は以下のとおり

(1) 当会の概要等

- ・ 入会方法
- ・ 設立の経緯、総会資料
- ・ 会員紹介のコーナー など

(2) イベント情報

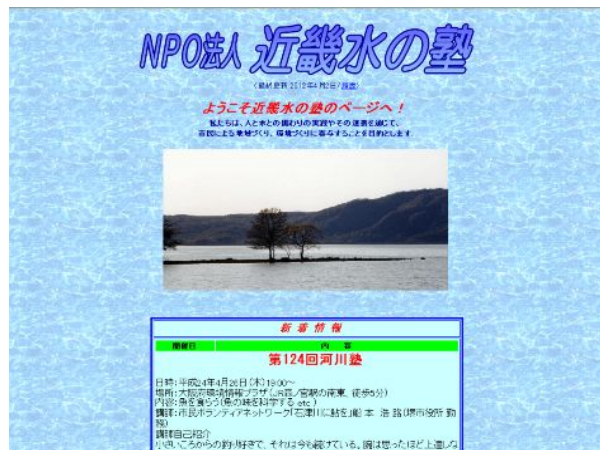
- ・ 当会主催のイベント案内
- ・ 河川塾案内
- ・ 他団体のイベント案内

(3) 活動報告

- ・ 当会の活動報告
- ・ 河川塾通信
- ・ 新聞記事掲載

(4) リンク集

- ・ 水環境等の市民団体等のリンク集



<http://www.geocities.jp/npokinkimizunojuku/>

ブックマーク、名刺に印刷をお願いします。

(報告者：安田 博之)

3. 成果

平成23年4月から24年3月までの1年間で13回の更新(通算で172回)を行い、常に最新情報を発信した。過去の報告も掲載しているので、会員の資料室としての利用もされている。

総会資料についても掲載している。

4. 今後の課題

- ・ イベントの案内だけでなく、川に関わる活動をしている団体や個人の紹介をするなど内容充実を目指す。
- ・ 他のホームページにリンクしてもらい広く閲覧してもらうように工夫する。

第4回雨水(あまみず)ネットワーク会議全国大会 in 大阪

日時：平成23年8月5日(金)、6日(土)
場所：大阪府立男女共同参画・青少年センター(通称：ドーンセンター)

テーマ：琵琶湖から広がる流域の雨水活用～子供たちに環境学習を通じて雨水循環を伝えよう！～

内容：

8月5日(金)13:00～17:30

アトラクション(エコレインショー)

基調講演1 村瀬誠(国内外の雨水利用動向&流域の雨水管理)

基調講演2 神谷博(建築学会雨水活用システム)

映像作品上映 「世界の雨水利用 生きている雨水」(製作：韓国 ファンソンヨンさん解説)

雨水活用事例発表

- ・大阪ステーションシティの概要と地球環境保護への取り組み
- ・嵐電沿線 協働緑化プロジェクト
- ・子ども目線の雨水タンクの設置と環境学習授業ポスターセッション

18:00～懇親会

8月6日(土)9:30～12:00

第1分科会：流域雨水ネットワーク

第2分科会：雨水活用法制度

第3分科会：雨水活用のアジア交流

13:30～雨水ツアー(大阪駅及び狭山池博物館)

概要報告 (久保田感想含みます)

1日目は、大ホールでのヒーローショー仕立てのエコレインショーに始まり、会議室では雨水博士も登場する水の環境学習、雨のおもしろ実験ショーや、流域や都市の水循環の仕組みを学べる講義など工夫を凝らし、ワークショップとしては中南米のインディオが雨乞いに使った雨音に似た音を出す楽器「レインスティック」や雨水の浸透を象徴した植物が喜ぶ「透水性植木鉢」の制作などがありました。

2日目は、3つの分科会に分かれて基調講演があり、話し合いが持たれました。久保田は第3分科会(雨水活用のアジア交流)に参加しました。

狭山池は中国や韓国に同様な施設があり、昔から技術の交流があったのです。また、バングラディッシュには雨水利用の必然性が高まっており、日本の支援が進んでいます。地元の管理運営が可能になるよう、伝える努力が感動的でした。

韓国から来られた大学のハン先生は、「バイオフィルムの研究成果」を発表されました。雨水活用タンクのメンテナンスの点から、タンクの側壁にできた微生物の膜を維持することが、雨水を浄化するために重要なのです。ドイツでは既にその規格ができています。まさに目からウロコでした。考えてみたら、下水の浄化も微生物によるのですから、

もっともなことなのでしょう。台所の「ぬめり」も基本的には同じもの。これが水をきれいにしているわけです。水原(スオン)市にぜひ行ってみたいと思いました。

2012年3月には、釜山の近くゴソンというところで恐竜博覧会が開催され、雨水利用が大きなテーマになるとのことでした。

雨水(あまみず)は、洪水の原因ともなるので、特に都市内では迷惑なものになっています。河川の行政でも、「治水」という言葉にあるように、いかに雨水を速く流すことに一番の注意がはらわれています。

しかし、雨水は、最初の5分程度は空気中のチリやほこりを含んで汚れていますが、その後は、「極めて良好な蒸留水」なのです。

例えば東京都では、年間に降る雨は25億トン、利用する水は20億トン。自前でまかなえる水を速く流し去り、周辺の県からエネルギーを使って水を集め、利用するという反エコなことをしています。

飲料水の観点からも、エネルギーの観点からも、雨水利用はもっと進めるべきでしょう。建築学会もようやく規格づくりにとりかかっているようです。

昔、雨が降った時に、口をあけて雨を飲んだことがあるのですが、50年の時を経て、空を見上げることが楽しくなったりしています。

(文責：久保田)



会場のドーンセンター(天満橋)



エコレインショーの様子



水の環境学習の様子。1 回の歯磨きで 12 本分



様々な雨水タンク展示。これは信楽焼



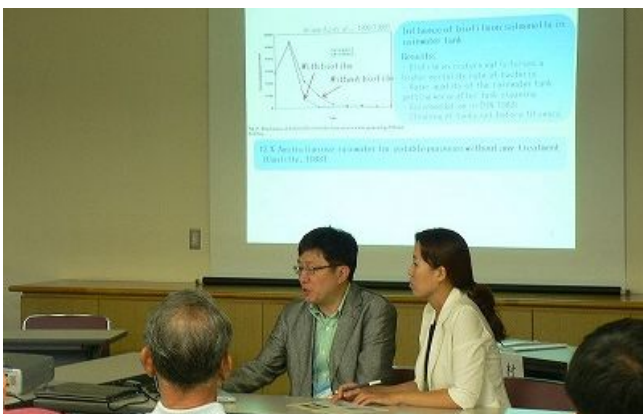
宝塚雲雀丘学園の高校生、村瀬さんと談笑



書籍販売コーナー



2012 年 3 月、韓国ゴソン市恐竜博は雨水テーマ



韓国。ハン先生のバイオフィルム報告。「ぬめり」が水をきれいにするという研究成果です。

当日パンフレット

シンポジウム「生物多様性なら田んぼ」

日時：平成24年3月17日(土)
場所：ほの字の里(貝塚市藁原2114)
テーマ：「生物多様性なら田んぼ」
内容：

開会あいさつ 13:30 山口進会長

わくわくクラブ紹介 岡田氏

基調講演 14:00~15:40

宇根豊氏「生物多様性なら田んぼ」

(百姓、元・農と自然の研究所代表)

パネルディスカッション 15:50~17:20

「この頃の田んぼと山」

コーディネーター 福廣勝介氏(近畿水の塾)

パネリスト

安田博之氏「農家跡継ぎ」(近畿水の塾)

高畑正氏「森の学校・森の小学校・田んぼの学校」(農都共生ネットこうべ、近畿水の塾)

城野美姫子氏&喜多理恵氏「わくわくクラブ」

宇根豊氏

つばやきトーク 17:30~18:30

コーディネーター 白木茂氏

交流会 19:00~

主催 自然遊学館わくわくクラブ(貝塚市)

概要報告

山口会長の挨拶で開会しました。高橋自然遊学館館長から来賓祝辞、わくわくクラブの紹介がありました。わくわくクラブの岡田さんからは和歌山のハッサク山や自然生態園での活動の様子が紹介されました。紀ノ川市黒川の奥山でハッサクや柿の栽培を手伝っています。ハッサク100本で24000個の収穫があります。また自然生態園では、1997年から水生昆虫調査や維持管理活動を続けています。基調講演は、宇根豊さんです。

・生き代わり 死に代わりして 打つ田かな(まなざし論) 田んぼは村の大切な場所、生き物は田んぼを支えた、減反で田植えはなしでも蛙は待っている。
・村の外からの思想としての生物多様性(自然論) 「自然」という日本語には2つの意味がある。自然環境の意味、自然とそうなるという意味。自然はnatureの翻訳。明治以前は自然という言葉は日本にはなかった。池の中のフナと同じで、自然と人間は分けて考えていなかった。原生自然はなぜ大切か? 西洋では自然は神様が作った。大切なのは百姓が作った自然ではないか=里山。農業=産業か? 農業が自然を支えていることを忘れたら日本の自然は終わり。田の草のうち70%は絶滅危惧種である。
・科学のすごさと哀しさ(科学論) 日本で生まれている赤とんぼのうち、田んぼで生まれているのは99.9%だが、このことを百姓を含めてみんな知らないのは何故か。

・人類が減びた後も夕焼けは存在するか? あるわけない。夕焼けは人間のまなざしである。科学は冷静に外から物事を捉える、答えは一つだと。本当の真実は一つでない。「ただの虫」は生物多様性に匹敵する日本的な発見だと言われていますが、あくまでも「外からのまなざし」の最たる例。稲は害虫、益虫、ただの虫を区別しているだろうか?。など

パネルディスカッションでは、安田氏から尼崎市での環境保全の取組や都市部での兼業農家の生活の紹介、高畑氏からは、六甲山における市民参加の森づくりや神戸市西区での稲作などの取組を紹介。宇根氏、わくわくクラブのメンバーも交えて意見交換。

つばやきトークでは、講師やパネリストを囲み、お茶を飲みながら、意見交換を行いました。



宇根さん基調講演



左から山口会長、福廣氏、安田氏、宇根さん夫妻
(文責：安田)

河川塾内容一覧

場所：河川情報センター6F会議室（第49回まで） 環境情報センター（第49回から）

2012/5/5現在

回	日時	講師 & テーマ
第1回	平成12年 11月30日(木)	第1限 定例講義 (澤井)「河川学原論」その1 『河川とは、「望ましい」川の姿』 第2限 川の情報交換 (白木)『澤井先生のマイリバー 日野川』 大阪府での『水辺の学校』、『流域懇談会』開催状況(野添) 『よこはま かわを考える会ニュース』の紹介(福廣)
第2回	12月21日(木)	第1限 新シリーズ 報告「近畿の川～探訪～」番外編 『木曽川 自然共生研究センターと河川環境楽園』 第2限 定例講義 (澤井)「河川学原論」その2 『流域と氾濫域、川の定量的な捉え方』 第3限 川のなんでも情報交換会 話題提供 「川に学ぶ」シンポジウムin近畿(足立) 『川のなんでも市』のふりかえり 河川審議会計画部会中間答申(勝山) 「流域での対応を含む効果的な治水のあり方」 平成12年度大阪府河川協会講演会の開催について(野添)
第3回	平成13年 1月18日(木)	第1限 シリーズ 報告「近畿の川～探訪～」『春木川・津田川と近木川』 第2限 定例講義 (澤井)「河川学原論」その3 『普段の川 現実の川における問題点』 第3限 特別講義 水資源開発公団(福田)『河川災害について』 第4限 川のなんでも情報交換会 『流域での対応を含む効果的な治水の在り方について』(西下) 『石川で遊ぶ バードウォッチングin石川』(勝山)
第4回	2月15日(木)	第1限 シリーズ 報告「近畿の川～探訪～」 『澤井先生のマイリバー=日野川の池作りに参加してきました』 第2限 徹底討論 『マイリバーとの関わり ... 日野川の池作りを例として』 第3限 川のなんでも情報交換会 『第4回淀川討論会』のお知らせ(2/24)(澤井) 『進めよう、いのちあふれる都市づくり～神戸地域生物多様性保全シンポジウム～』のお知らせ(2/24)(安田) 『春木川・轟川市民のつどい』のお知らせ(3/4)(白木江都子) 『川の世界 加古川』加古川を題材にした総合学習の副読本のご提供(田中)
第5回	3月15日(木)	第1限 自習 (澤井先生定例講義休講のため) 「川のH条件」森下郁子 他/著『陸水生態学からの提言』～魚の「すめる」川から魚の「すむ」川へ 第2限 シリーズ 報告「近畿の川～探訪～」『南河内 石川』
第6回	4月19日(木)	第1限 情報提供 (木村) 報告「近畿 川ものがたり」 第2限 定例講義 「河川工学」基礎編(澤井) 河道の中の流れについて 第3限 「川と人とのつきあい方」 第4限 「河川に関するQ&A」 第5限 話題提供 (岡田)「Landscape Kansai」(春号)
第7回	5月15日(火)	第1限 定例講義 「河川工学」基礎編2 ～土砂が動く～ 第2限 Q&Aコーナー及び情報交換
第8回	6月19日(火)	第1限 定例講義 『河川工学』基礎編-3 第2限 「川に関するQ&A」「川のお悩み相談室」「情報提供」
第9回	7月17日(火)	第1限「赤目エコリゾート」合宿の報告 第2限澤井塾 小学校3年生に対する授業メモを元に意見交換会 第3限春木川の河川改修 第4限その他
第10回	9月8日(土) 名張 土谷邸	8月21日(火)台風11号のため、中止となり9月8日が第10回となる (1)澤井先生の『Eポート』 【川に学ぶ!】 「シンポ1周年!」 「シンポふりかえり!」

河川塾内容一覧

場所：河川情報センター6F会議室（第49回まで） 環境情報センター（第49回から）

2012/5/5現在

回	日時	講師 & テーマ
第11回	10月16日(火)	第1限 情報提供 『川に学ぶ体験活動発表交流会について』川に学ぶ」シンポふりかえり等 (参加者の中での自由なフリートークの時間)
第12回	11月20日(火)	第1限 シリーズ 報告「近畿の川～探訪～」『河内-長瀬川』 第2限 定例講義 『河川工学』基礎編-4 (澤井)
第13回	12月18日(火)	座談会+忘年会
第14回	平成14年 1月22日(火)	第1限 シリーズ 「近畿の川～探訪」 『泉州 槇尾川』 第2限 定例講義 『河川工学』(澤井)
第15回	2月19日(火)	フリータイム 『川』のおしゃべりタイム(情報交換) 第1限 定例講義 『河川工学』(澤井) 第2限 「私の好きな川、嫌いな川アンケート」
第16回	3月13日(水)	いってらっしゃい、土谷さん！ 大々壮行会 主催：(仮称)『近畿水環境ネットワーク』準備会
第17回	4月17日(水)	4月から第3水曜日に変更いたしました 新シリーズ 『マイリバー紹介』 堺市 土居川(その1)(西河)
第18回	5月22日(水)	新シリーズ プレゼンテーション 『マイリバー紹介』 堺市 土居川(その2) (西河) 第1限 フリーディスカッション 『土居川について』 第2限 講評 『川の学校』(澤井)
第19回	6月19日(水)	新シリーズ プレゼン 『マイリバー紹介』 堺市 土居川(その3)(西河) 第1限 フリーディスカッション 『土居川について』 第2限 講評 『川の学校 土居川編』(澤井)
第20回	7月17日(水)	シリーズ プレゼン 『マイリバー紹介』 三重 名張川(その1) (川上・福廣) 第1限 フリーディスカッション 『名張川について』 第2限 講評 『川の学校 名張川編』(澤井)
第21回	9月18日(水)	シリーズ プレゼンテーション 『マイリバー紹介』 三重 名張川(その2) (川上・福廣) 第1限 フリーディスカッション 『名張川について』 第2限 報告会 「川の日ワークショップ」 グランプリ 寝屋川再生ワークショップ(澤井) 準グランプリ 牛滝川(野添)
第22回	10月16日 (水)	シリーズ プレゼンテーション 「NPO法人 近畿水の塾」 理事長 福廣さん 副理事長 澤井さん 第1限 報告会1 「大阪 川めぐり」(古川) 第2限 報告会2 『第2回川に学ぶ体験活動発表 交流会in北九州』(川上)
第23回	11月20日(水)	第1限 シリーズ マイリバー紹介 「近木川 汽水ワンド」(白木) 第2限 報告会 『第2回川に学ぶ体験活動発表交流会in北九州』(福廣)
第24回	12月18日(水)	特別シリーズ 流域間交流会 「大阪府 石川と近木川」(寺川・白木) 川における市民と行政の協働とは？・ミニワークショップ開催
第25回	平成15年 1月13日(月・ 祝)	河川塾フィールドワーク 「大阪府 石川」-(勝山) 石川流域講座生との意見交換会
第26回	2月16日(日)	河川塾フィールドワーク 「大阪府 近木川」-(白木)
第27回	3月12日(水)	マイリバーふりかえり 九州川の日ワークショップ松浦川の報告(福廣)
第28回	4月16日(水)	河川関連法についての自主学習 「自然再生法ってどんななん？」 レポート 「淀川 平成ワンドと木工沈床工」

河川塾 内容一覧

場所：河川情報センター 6 F 会議室（第49回まで） 環境情報センター（第49回から）

2012/5/5現在

回	日時	講師 & テーマ
第29回	5月21日(水)	河川関連法についての学習会 第1限 - 講義 - 「自然再生推進法の解説」 講師：大阪府環境農林水産部 池口主査 第2限 全体討論会 「自然再生推進法とは？」
第30回	6月18日(水)	「水辺空間と人の関わり」 京都造形芸術大学 学生チームの木津川精華町での調査発表会（下村）
第31回	7月16日(水)	「近木川 自然再生事業」 大阪府貝塚市近木川での自然再生事業に向けての課題・取組み方（白木）
第32回	8月20日(水)	「近木川 自然再生事業」 大阪府貝塚市近木川での自然再生事業に向けての課題・取組み方（澤井）
第33回	9月17日(水)	第1限.「近木川」 第2限.「私の水辺」大発表会2003～水辺や水辺活動の評価手法、評価基準を考える～
第34回	10月15日(水)	第1限 - 第4回全国源流シンポジウム in 高津川大会 報告（福広） 第2限 マイリバー紹介 尼崎市「庄下川」（安田）
第35回	11月22日(土)	リバーウォッチング庄下川 よみがえれ庄下川～川・人・街の風景～（午後1時～5時）
第36回	12月17日(水)	北桂川の流域見聞について（下村）
第37回	平成16年 1月21日(水)	流域委員会シリーズ 淀川水系流域委員会「意見書」を読む ～淀川河川整備計画基礎原案から（1）～（澤井）
第38回	2月18日(水)	流域委員会シリーズ 淀川水系流域委員会「意見書」を読む ～淀川河川整備計画基礎原案から（2）～（澤井）
第39回	3月17日(水)	河川塾フィールドワーク 摂南大学実験視察 ～近木川汽水ワンド実験～
第40回	4月21日(水)	流域委員会シリーズ 淀川水系河川整備計画策定について ～流域委員会の活動について（1）～（川上）
第41回	5月19日(水)	マイリバー 寝屋川再生ワークショップからの報告（上田、澤井、久保田）
第42回	6月16日(水)	流域委員会シリーズ 淀川水系河川整備計画策定について ～流域委員会の活動について（2）～（川上）
第43回	7月21日(水)	シリーズ 大和川を語る ～都市河川としての大和川の過去・現在・未来～（角野）
第44回	8月18日(水)	レポート 大和川・淀川流域連携水環境交流会2004 新潟・福井水害
第45回	9月15日(水)	歴史と文化の中の川づくりを考える ～近畿水の塾への期待、役割～（角野）
第46回	11月17日(水)	水資源と環境 ～淀川水系の水資源の量と質～（大阪府立大学荻野教授） 10/20の河川塾は台風23号の接近で中止になりました。（被害を受けられた皆さまには心よりお見舞い申し上げます。）
第47回	12月15日(水)	シリーズ NPO活動と市民協働の実態 ～三島グランドワークにおける政策自主研究報告（速見）
第48回	平成17年 1月19日(水)	シリーズ NPO活動と市民協働の実態 ～NPO法人里山倶楽部の紹介～（寺川）
第49回	2月17日(木)	シリーズ 堺7-3区共生の森の活動紹介（速水）
第50回	3月16日(水)	シリーズ 浜寺水路でのコンブ育成実験（前田）
第51回	4月27日(水)	シリーズ おおさかレインボウプロジェクト ～雨みずからはじめる豊かなまち～（足立）
第52回	6月22日(水)	シリーズ 都市と農の共生する地域 （まち）づくり都共生ネットこうべ(非営利組織) 本位田 有恒氏
第53回	8月31日(水)	流域委員会シリーズ 淀川水系流域委員会からの報告（澤井）
第54回	9月28日(水)	シリーズ 寝屋川再生ワークショップからの報告（久保田、澤井）

河川塾内容一覧

場所：河川情報センター6F会議室（第49回まで） 環境情報センター（第49回から）

2012/5/5現在

回	日時	講師 & テーマ
第55回	10月26日 (水)	流域委員会シリーズ 淀川水系流域委員会からの報告(その2)(澤井) 於：琵琶湖・淀川水質保全機構(BYQ)4階会議室
第56回	11月26日 (土)	河川塾フィールドワーク ～寝屋川駅前せせらぎ広場と点野ワークショップ見学～(上田、澤井)
第57回	12月27日 (火)	レポート 都市のウォータースケープ計画に関する国際ワークショップ ～水によみがえる懐かしい未来都市 堺～(久保田)
第58回	平成18年 1月25日(水)	マイジョブ&マイリバー 水の家からウォーターサロンへ BUD代表 上岡康宣氏 於：ウォーターサロン
第59回	2月22日(水)	シリーズ 琵琶湖・淀川水系での水環境保全 ～BYQの取組みについて～(河野) 於：琵琶湖・淀川水質保全機構(BYQ)4階会議室
第60回	3月22日(水)	近畿水の塾や河川塾の一年をふりかえるワークショップ ファシリテーター：久保田洋一
第61回	4月25日(火)	マイジョブ&マイリバー 水と人と自然 竹尾敬三
第62回	6月28日(水)	流域委員会シリーズ 淀川水系流域委員会からの報告 ～河川整備計画基礎案に係る事業進捗状況の点検～ 澤井健二
第63回	7月27日(木)	シリーズ 芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク」の取組み TKK自然観察会代表 田口圭介氏、 中山香代子
第64回	8月22日(火)	マイジョブ&マイリバー 日本とドイツの水の使い方の差、ヴァーチャル・ウォーター、 地球温暖化について 疋島巖
第65回	9月26日(火)	レポート 水郷・水都全国会議大阪大会から得たもの(ここだけの話) 久保田一、久保田洋一
第66回	10月24日 (火)	マイジョブ&マイリバー 道頓堀川を中心として変わりはじめたミナミ 有限会社エイライン 横山 葵氏
第67回	11月29日 (水)	マイジョブ&マイリバー 仕事の広がり、人つながりから 白木江都子
第68回	12月26日 (火)	シリーズ 公共交通機関としてのLRTの可能性について 石塚昌志
第69回	平成19年 1月23日(火)	マイジョブ&マイリバー 環境調査の実状 米花正三
第70回	2月28日(水)	拡大版河川塾 LRT試験線(トランスロール)試乗、研修センター見学など 案内 石塚昌志
第71回	3月20日(火)	マイジョブ&マイリバー 真言宗醍醐派総本山「醍醐寺」全山改修30年計画 磯貝猛
第72回	4月26日(木)	マイジョブ&マイリバー 高瀬川のほとり 京都樽屋「樽徳」会長 宮本 博司
第73回	6月28日(木)	マイジョブ&マイリバー 自然と文化の森協会の活動紹介と猪名川自然林の植生調査から 白樫 誠治
第74回	8月28日(木)	マイジョブ&マイリバー 武庫川流域委員会での私の思い 松本 誠(武庫川流域委員会委員長)
第75回	9月25日(木)	マイジョブ&マイリバー NPO・行革と公益法人改革の流れから 末村 祐子(大阪経済大学客員教授)
第76回	10月23日(木)	マイジョブ&マイリバー 私の環境年表～行政経験を中心として～ 南 隆雄
第77回	11月27日(木)	マイジョブ&マイリバー 天若湖アートプロジェクト これまでとこれから 下村 泰史&さとうひさ系(アートプランまぜまぜ)
第78回	12月25日(木)	マイジョブ&マイリバー マイリバーとマイチャリンコ 西村 浩一(毎日新聞編集委員)
第79回	平成20年 2月23日(土)	マイジョブ&マイリバー 指定管理者制度の功罪、今後のあるべき姿など 樋熊 浩明(西武造園株式会社) 於 アピオ大阪4階松の間
第80回	3月25日(火)	マイジョブ&マイリバー 寝屋川市における環境用水の可能性 山本 智志
第81回	4月23日(水)	マイジョブ&マイリバー 自然環境回復は、人間性の回復だ!! 前田 誠一郎 於 大阪駅前第2ビルキャンパスポート大阪

河川塾 内容一覧

場所：河川情報センター 6 F 会議室（第49回まで） 環境情報センター（第49回から）

2012/5/5現在

回	日時	講師 & テーマ
第82回	6月24日(火)	マイジョブ&マイリバー 川づくりの最前線 小俣 篤
第83回	7月22日(火)	流域委員会シリーズ 川への思いと企画シンポジウム「全国川シンポ」への期するもの、 広報 今本博健(京大名誉教授・元淀川水系流域委員会委員長)
第84回	9月6日(土)	古老に聞くシリーズ 第1回「おじいちゃんの仕事、おばあちゃんの暮らし」ヒアリング 名張市下比奈知鈴木幹子さん宅にて 鈴木幹子さん、紀さん、雄治さん
第85回	9月30日(火)	マイジョブ&マイリバー 上下流の住民交流の必要性について 久保田 洋一、寺川 裕子
第86回	10月21日(火)	流域委員会シリーズ 猪名川自然林の保存運動、流域委員会での経験特に一流域住民が流域 委員会に加わることの意味、藻川の堤防を考える会の活動など 細川 ゆう子氏(元淀川流域委員会)
第87回	12月22日(月)	マイジョブ&マイリバー 百姓見習い～ある都市農家長男による稲作記録の報告～ 安田 博之
第88回	平成21年 1月27日(火)	マイジョブ&マイリバー 水と共に暮らす事の意味 福廣 勝介
第89回	2月24日(火)	マイジョブ&マイリバー 環境モデル都市・堺 船本 浩路
第90回	3月24日(火)	マイジョブ&マイリバー 数値解析による上野遊水地の洪水調節効果に関する研究、 ボクの遊んだ川と田んぼ 村田 遼介
第91回	4月11日(土)	フィールド版河川塾 クールシティSakaiの関連計画の多い、堺市北西部のまちを見学 案内 西河 嗣郎
第92回	6月26日(金)	マイジョブ&マイリバー ピコ水力発電の現状 竹尾 敬三
第93回	7月21日(火)	マイジョブ&マイリバー 地域環境デザインとしての桂川流域ネットワーク 下村 泰史
第94回	8月20日(木)	マイジョブ&マイリバー 新たな公による地域づくり 石塚 昌志
第95回	9月29日(木)	マイジョブ&マイリバー 神戸つれづれエコアップ 田中 充
第96回	10月28日(水)	マイジョブ&マイリバー 低炭素社会に向け東吉野村と行う地域連携について 船本 浩路 (堺市環境都市推進室)
第97回	11月24日(火)	マイジョブ&マイリバー 米国のダム撤去と日本初の赤谷ダム撤去、そして石津川 太田 勝之(リバーポリシーネットワーク代表)
第98回	12月19日(土)	拡大版河川塾 於 尼崎市立小田公民館 宇根豊さんと映画「たんぼ」をみて農と自然を語る会 宇根 豊(農と自然の研究所代 表理事)
第99回	平成22年 1月26日(火)	マイジョブ&マイリバー 滋賀県版治水政策 瀧 健太郎(滋賀県流域治水政 策室)
第101回	2月25日(木)	マイジョブ&マイリバー 古代大阪の治水事業 藤井 薫
第100回	3月27日(土)	拡大版河川塾 於 尼崎市立小田公民館 河川塾100回記念 女性技術者の視点で語る「環境・河川」 瀧 健太郎(滋賀県流域治水政策室) 磯ちず子(横浜市)、田中秀子(国土交通省)
第102回	4月28日(木)	マイジョブ&マイリバー 植物と水環境、揖保川水系、趣味の話など 名部勇世(尼崎市)
第103回	6月23日(水)	流域委員会シリーズ 武庫川づくりと市民の関わり～武庫川流域委員会活動を通じて～ 田村博美(武庫川づくりと流域連携を進める会代表)
第104回	7月27日(火)	シリーズ 神戸市職員による住民活動例～住民参加から行政参加 高畑正
第105回	8月27日(金)	マイジョブ&マイリバー 瀬戸内海の祝島から改めて原発と最後に残された瀬戸内海の原風 景を考える 川崎良重
第106回	9月28日(火)	マイジョブ&マイリバー 尼崎21世紀の森づくりと「すき間緑化」～尼崎鉄工団地 みどり への挑戦～ 村上義徳(NPO法人尼崎21世紀の森理事)
第107回	10月28日(木)	マイジョブ&マイリバー 大阪ふれあいの水辺づくり事業から学ぶこと～生物多様性の個人 的な想いを踏まえて～ 足立崇博

河川塾 内容一覧

場所：河川情報センター 6 F 会議室（第49回まで） 環境情報センター（第49回から）

2012/5/5現在

回	日時	講師 & テーマ
第108回	11月26日（金）	シリーズ 大和川市民ネットワークの経緯と最近の状況 辰谷直子（大和川市民ネットワーク代表）、新元秀（副代表）、小松清生（事務局長）ほか
第109回	12月22日（水）	マイジョブ&マイリバー 学生生活から、獣医師の職場や仕事内容など 山崎綱士（尼崎市動物愛護センター）
第110回	平成23年 1月26日（水）	レポート 梅小路公園水族館計画の問題点と経緯について 下村泰史
第111回	2月22日（火）	マイジョブ&マイリバー 尼崎南部再生へ向けた取り組み 若狭健作（尼崎南部再生研究室、株地域環境計画研究所）
第112回	3月23日（水）	マイジョブ&マイリバー マイリバーを語る。川との付き合い。水との付き合い。福廣勝介
第113回	4月25日（月）	ウズベキスタン報告 南隆雄
第114回	6月29日（水）	国際無償援助 竹尾敬三
第115回	7月26日（火）	猟すること 西村浩一
第116回	8月25日（木）	放射線、フクシマを測定して 久保田洋一
第117回	9月20日（火）	一般廃棄物処理と発電 高野伸一郎（堺市環境局環境事業部クリーンセンター東工場）
第118回	10月25日（火）	大阪府中央卸売市場の役割（これまで～これから） 久保佳洋（大阪府中央卸売市場業務課）
第119回	11月25日（金）	ダムの操作について 左近重信（水資源機構池田総合管理所）
第120回	12月3日（土）	拡大河川塾 於尼崎市立すこやかプラザ・ホール「柳川掘割物語」を広松伝さんの三大弟子と観る会！ 山道省三（環境計画山道省三アトリエ代表）、田中秀子（筑後川水問題研究会）、山口徳雄（佐賀市）
第121回	平成24年 1月26日（木）	2011熊野水災 現地での体験と考察 辻井隆昭（地域循環システムデザイン研究所）於ドーンセンター4階中会議室
第122回	2月23日（木）	里山復元 中村伸之（有限会社ランドデザイン、立命館大学ほか非常勤講師、NPO法人京都景観フォーラム理事など）
第123回	3月23日（金）	映画「祝の島」鑑賞
第124回	4月26日（木）	魚を食らう（魚の味を科学する etc） 船本浩路（堺市、市民ボランティアネットワーク石津川に鮎を）